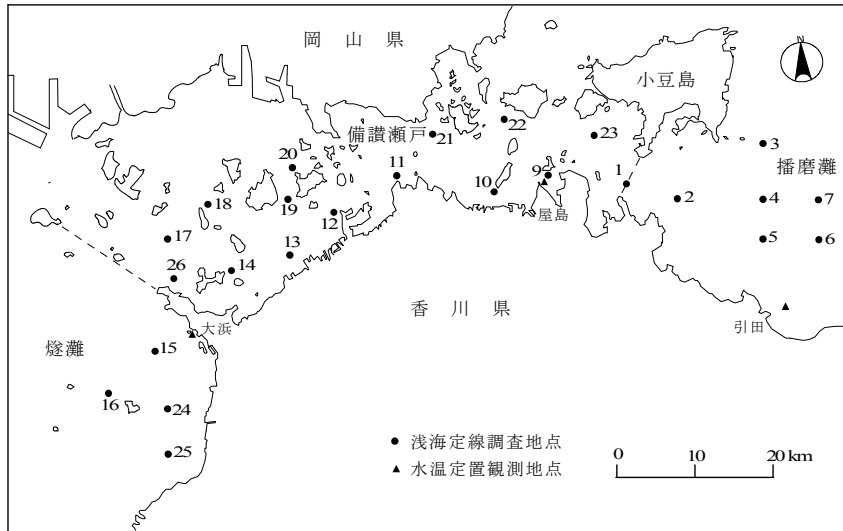


香川県漁海況情報 平成 23 年 2 月 (H22-11 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 23 年 2 月 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 2 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「かなり低めからやや高め」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

2 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 氧 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	7.9	7.9	7.8	32.9	32.9	33.1	9.6	6.61	6.57
	平年値	9.3	9.3	9.2	32.7	32.7	32.8	8.9	6.42	6.35
	平年偏差	-1.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.9	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	1.7	0.32	0.31
	状 況	かなり低め	かなり低め	かなり低め	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み	やや高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	8.0	8.0	8.0	33.3	33.3	33.3	5.8	6.68	6.67
	平年値	9.1	9.1	9.1	32.8	32.8	32.8	6.0	6.38	6.38
	平年偏差	-1.1	-1.1	-1.1	0.5	0.5	0.5	-0.2	0.30	0.30
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.6	1.4	0.30	0.31
	状 況	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め
燧 灘	4地点平均値	8.8	8.8	8.8	33.4	33.4	33.4	7.6	6.44	6.48
	平年値	9.9	9.9	9.9	33.0	33.0	33.1	7.5	6.52	6.47
	平年偏差	-1.1	-1.1	-1.1	0.5	0.4	0.4	0.1	-0.08	0.01
	標準偏差(σ)	0.8	0.9	0.9	0.5	0.5	0.5	1.2	0.35	0.39
	状 況	かなり低め	やや低め	やや低め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

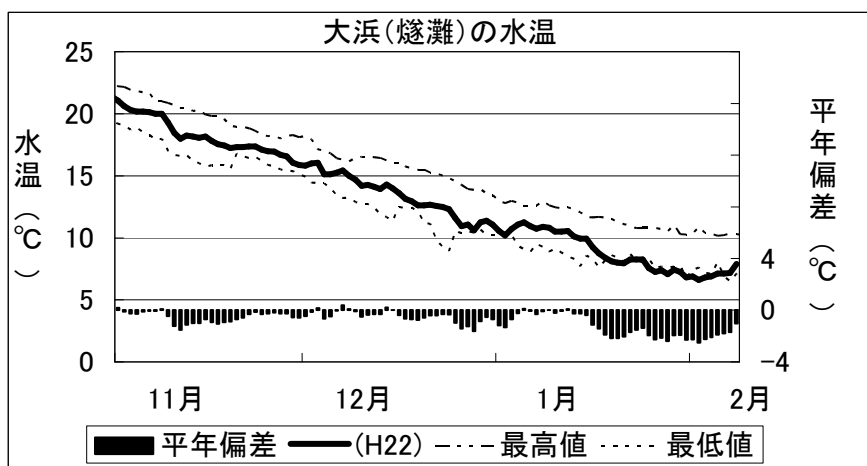
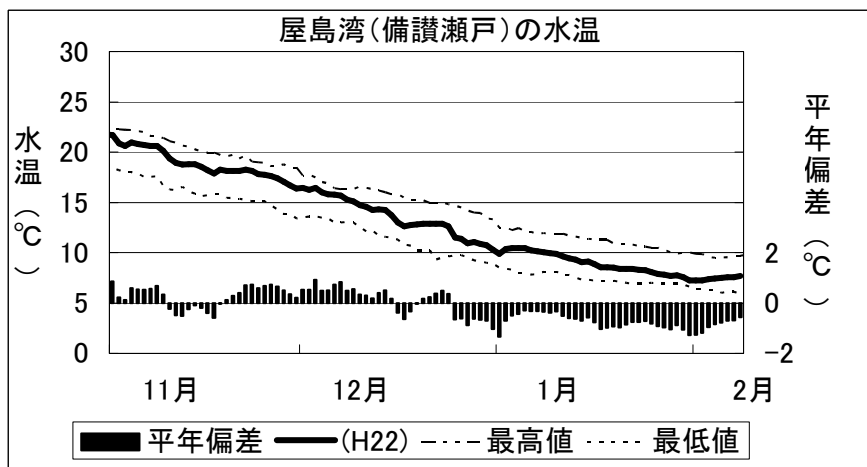
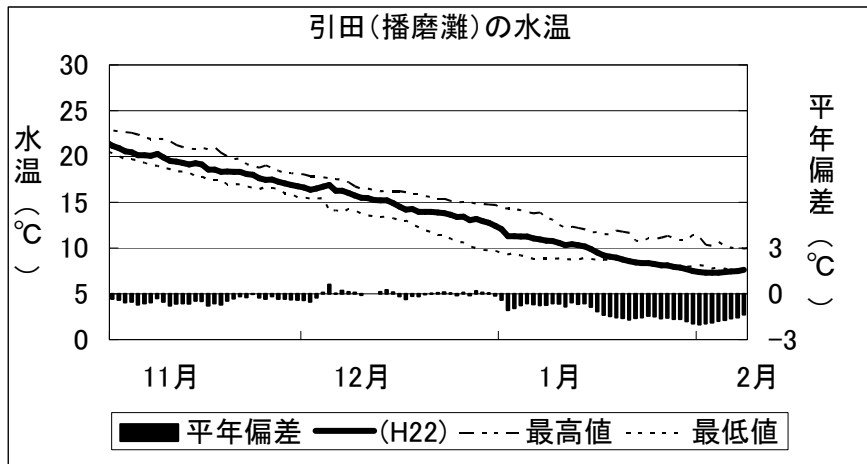
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田)： 11月は平年並みからやや低め、12月はやや低めから平年並み、1月は平年並みから著しく低め、2月は著しく低めで推移している。(1月下旬に2日、2月上旬に7日、過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島)： 11月は平年並みからやや高め、12月はやや高めからやや低めで推移していたが、1月は平年並みからかなり低め、2月はかなり低めからやや低めで推移している。

燧灘 (大浜)： 11月は平年並みからかなり低め、12月は平年並みからかなり低め、1月は平年並みから著しく低め、2月は著しく低めからかなり低めで推移している。(1月上旬に1日、下旬に10日、2月上旬に5日、過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜：平成元 (1989) ～平成 21 (2009) 年
屋島：昭和 50 (1975) ～平成 21 (2009) 年



4) 赤潮 (1月21日～2月18日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成23年2月1日（備讃瀬戸，燧灘），2日（播磨灘）

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年（1980）度～平成21年（2009）年度

マイワシ：平成6年（1994）度～平成21年（2009）年度

イカナゴ：昭和56年（1981）～平成22年（2010）年

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	0.3
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3		
	対平年(%)	-	-	-	0	-	205		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.1
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	2.1		
	対平年(%)	-	-	-	0	-	14		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5
	平年値	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.0		
	対平年(%)	-	-	-	0	-	52.4		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.2
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	2.2		
	対平年(%)	-	-	-	0	-	98		

カタクチイワシ，マイワシの卵・稚仔は，確認されませんでした。

2. 漁況

1月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、スズキ、シロギス、ヒラメ、メイタガレイ、マコガレイ、ウシノシタ類、オニオコゼ、マアナゴ、タイラギ、アカニシが漁獲されている。また、マダイ、シロギス、マアナゴは好調、ヒラメ、タイラギは前月より増加傾向、マコガレイ、ウシノシタ類は低調、その他の魚種は前年並みである。</p> <p>建網では主にスズキ（小）、メバル、カサゴが漁獲されているが低調である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ、クロダイ、スズキ、ヒラメ、シロギス、マアナゴ、メイタガレイ、ウシノシタ類、フグ類、イイダコ、アカニシが漁獲されている。</p> <p>建網では主にスズキ（小）、マダイ、クロダイ、メバル、カサゴが漁獲されている。</p> <p>中讃・高松沖のたいらぎ潜水器漁業は、2月に入ってから依然低調な漁獲が続いており30～50kg/隻・日程度である。</p> <p>高松沖のイカナゴ込網によるフルセ（親魚）漁は1月18日から操業が開始されている。2月上旬の漁獲量は約34トンで前年同期の約6倍と好調である。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にスズキ、メイタガレイ、オニオコゼ、ウシノシタ類、フグ類、ガザミ、シャコ、小エビ類が漁獲されている。</p> <p>柵網では主にマダイ、メバル、カサゴが漁獲されている。</p>